特別養護老人ホーム入所申込みの状況(令和7年4月)

市町村	入所申込者	入所の必要性が高 いと考えられる者	「 「備」考 「
大阪市	2,470	2,193	
堺市	740	626	
豊中市	250	198	〇特別養護老人ホーム入所申込者の状況
池田市	80	75	• 市町村を通じ、調査時点を令和7年4月1日と
吹田市	288	243	して把握したもの。
箕面市	74	64	・入所申込者数とは、各特別養護老人ホームへの
豊能町	67	61	申込者について、市町村で複数施設への申込を
能勢町	3	3	整理・集約し、既に他の介護保険施設に入所して
豊能計	762	644	いる者を除き、1年以内に入所を希望している者
高槻市	214	194	の数を集計したもの。
茨木市	250	214	〇「入所申込者」 <mark>6,984人</mark>
摂津市	105	100	
島本町	27	25	〇「入所申込者」のうち、
三島計	596	533	「入所の必要性が高いと考えられる者」6,050人
枚方市	518	458	
寝屋川市	244	228	○「入所の必要性が高いと考えられる者」の考え方
大東市	75	51	入所の必要性を判断するにあたっては、要介護度の他
交野市	63	46	に、家族の状況(介護者の状況)や居住環境等により在
守口市	81	67	宅サービスを利用しても在宅生活に支障がある等の状況
門真市	82	70	を勘案することが必要となるが、入所申込者の個々の状
四條畷市	102	83	況を全て把握することは困難であるため、要介護度と入
北河内計	1,165	1,003	所希望時期に着目し下記①、②の人数を「入所の必要性 が高いと考えられる者」と推定した。
八尾市	82	61	が向いて与えりれる白」と推定した。
柏原市	51	45	①「要介護度4及び5」の者について
東大阪市	194	162	厚生労働省が示した基本指針(H18.3.31 厚労告
中河内計	327	268	314号)において、平成26年度の目標値として、介護保
富田林市	75	71	険3施設の利用者合計のうち、要介護度4及び5の認定者
河内長野市	74	61	の占める割合を70%以上にすることとされているなど、
松原市	115	109	入所者について、重度者重点化方針が示されていること
羽曳野市	98	80	から、全員を対象者と算定 (4,040人)
藤井寺市	44	41	
大阪狭山市	50	45	 ②「要介護度3」の者について
太子町	22	19	要介護度が中程度であり、必ずしも全員が入所の必要
河南町	24	17	性が高いとは言い切れないが、本人もしくは家族が、す
千早赤阪村	0	0	ぐにでも入所したい(させたい)という意向を示してい
南河内計	502	443	ることを勘案して、入所希望時期を「早期希望(3ヶ月
岸和田市	89	78	以内)」と回答した者に限って対象者と算定 (2,010
泉大津市	51	32	\wedge
見塚市	69	55	
泉佐野市	14	8	
和泉市	88	68	
高石市	9	6	
	49	44	
泉南市			
版南市 忠岡町	23	21	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	17	
熊取町	19 7	1 /	
田尻町	•	(
伸町	3 422	3 340	
泉州計 総合計			
総合計	6,984	6,050	
政令市・中核市 を除外した計	1,984	1,687	